

地域社会への取り組み

「安全」を基軸に、安心・便利で快適なサービスを提供すること、沿線地域にお住まいの皆様の日常生活をサポートすることを目的として、様々な取り組みを行っています。

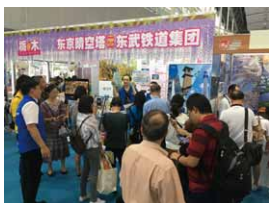
沿線地域の活性化

地元や各自治体・学校との連携により、観光スポット等沿線の資源を活かしたイベントの開催をはじめ、様々な取り組みを実施し、沿線地域の活性化を図っています。

訪日外国人とのコミュニケーション

東武鉄道では、台湾・香港・タイ・中国・韓国・シンガポール・インドネシア・豪州・欧州の旅行博に出展し、現地の方々に直接PRを行ったほか現地旅行会社およびメディアへの営業活動を積極的に行っています。また、東武グループインバウンドサイト「TOBU JAPAN TRIP」をはじめとするWebサイトの展開、その他沿線自治体・団体等とのプロモーション活動など様々な取り組みを推進しながら、東武グループの事業エリアの知名度向上に努めています。

東武グループでは、今後も関係自治体等と連携を図りながら、訪日外国人とのコミュニケーションを強化し、さらなる交流人口の増加と地域の活力の創出をめざしていきます。



中国旅行博



豪州旅行博

第3回 日光いろは坂 女子駅伝大会に特別協賛

2016年11月27日に「第3回 日光いろは坂女子駅伝大会」が開催され、東武鉄道が特別協賛をしました。

開催にあたっては、出場する選手や監督専用の臨時団体列車を運行し、その列車内では記念品を配付したほか、インスタントカメラを用いた「おもてなし」を実施。各乗車駅、および到着駅の東武日光駅では応援メッセージを書いた横断幕を掲出するなど、選手たちを激励しました。

また、現地での選手・関係者の輸送や「おもてなし」についても東武グループが対応し、運営のサポートを行うとともに、大会ムードの盛り上げに努めました。



東武日光駅でのお出迎え



SL「大樹」—地域観光活性化に向けた取り組み

SL復活運転をきっかけとした地域観光の活性化に向けた取り組みを進めています。地域の皆様とともに協議会を設立して、地域と一体となったSL「大樹」ならではの「おもてなし」として、「SL『大樹』にみんなで手を振ろうプロジェクト」を展開し、沿線住民とともにお客様の旅を盛り上げています。また、地域の皆様とともに様々なイベントやお祭りやSLとの連携企画も実施するなど、SL「大樹」を地域の誇りとして、地域の宝として大事に育て、この地に訪れるお客様にSLの走るまちの魅力を発信し、地域の活力創出につなげています。



鬼怒川温泉駅構内のお出迎え



幼稚園生たちのお見送り

「松原団地」から「獨協大学前〈草加松原〉」に駅名改称

東武鉄道では、東武スカイツリーライン 松原団地駅の駅名を2017年4月1日より、「獨協大学前〈草加松原〉」へ改称し、改称日当日には地元主催の記念式典が行われました。

この駅名改称により、「大学のあるまち」として地域のイメージアップを図るとともに、国指定の名勝地「草加松原」を副駅名として広くPRし、観光・行楽のお客様の誘致を図ることで、今後も地域とともに沿線価値向上をめざしていきます。



地元主催の記念式典



東武スカイツリーライン路線図(主要駅のみ掲載)

地域社会への取り組み

プレDC「本物の出会い 栃木」

2018年春の大型観光キャンペーン「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン(DC)のプレキャンペーンとして、2017年4月から6月の3か月間、栃木県・JR東日本・東武鉄道および関係自治体・団体・企業が協力して「本物の出会い 栃木」春の観光キャンペーンを開催し、様々なイベントを行いました。



共通デザインのポスターやのぼり旗等の装飾を展開、春の栃木県の魅力をPR

豊島区と「FFパートナーシップ協定」を締結 (東武百貨店池袋本店)

東武百貨店池袋本店は、これまでも地元豊島区と様々な形で連携を行ってきましたが、2016年からは「期日前投票所」を店内に設置し、区民の方々の利便性向上を図っています。さらに2017年8月には「女性にやさしいまちづくり」を公民連携で推進していくことを目的に同区と「FF(Female/Family Friendly)パートナーシップ協定」を締結し、子どもの遊び、学びの場や情報の提供、子育て支援をサポートするイベントなどを積極的に行っています。



期日前投票所



FFパートナーシップ
第一弾「スタンプでこどものまちをつくろう」

安全教育・環境教育

安全教育〈鉄道〉

駅や乗務管区などの現業長が中心となり、沿線の小学校において安全教室を行いました。

鉄道に関する安全、事故防止および車内マナーの啓発を目的として、踏切の渡り方や電車の乗り方などを楽しく、わかりやすく説明し、生徒たちとのコミュニケーションを図りました。



東上線沿線の小学校



東武本線沿線の小学校

安全教育〈バス〉

東武グループのバス各社では、地元の小・中学校において、公共交通機関としてのバスの役割を伝え、事故防止・交通安全の啓発を行うことを目的として安全教室や就業体験の受け入れを行い、生徒たちとのコミュニケーションを図りました。
(朝日自動車、茨城急行自動車、川越観光自動車、関越交通、桐生朝日自動車、国際十王交通、日光交通、阪東自動車、東武バスセントラル、東武バスイースト、東武バスウエスト)



関越交通による安全教室の様子

環境教育

2017年2月と6月に、東上線各職場および東武本線各職場の現業長などが、それぞれ沿線の小学校において講師となり、「人と環境にやさしい鉄道」と題した授業を行いました。

授業では、特急「スペーシア」の模型と手回しモーターを用いて、回生ブレーキのしくみについて説明を行うなど、鉄道が環境にやさしい乗り物であり、環境負荷低減に貢献していることなどを伝え、生徒たちとのコミュニケーションを図りました。



特急「スペーシア」の模型を用いた授業の様子

